



平成 25 年 7 月 10 日

各 位

福岡県福岡市中央区薬院一丁目 1 番 1 号  
メディアファイブ株式会社  
代表取締役社長 上野 英理也  
(コード番号：3824 Q-Board)  
問合せ先：専務取締役管理本部長 吉行 亮二  
(電話番号：092-762-0555)  
<http://www.media5.co.jp/>

### 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 24 年 7 月 12 日に公表いたしました業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想値と実績値との差異について

平成 25 年 5 月期連結業績予想値と実績値との差異 (平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)

|            | 売上高 | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------|-----|-------|-------|-------|----------------|
|            | 百万円 | 百万円   | 百万円   | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A) | 952 | 4     | 4     | 2     | 2.36           |
| 実績値 (B)    | 961 | 21    | 21    | 17    | 20.27          |
| 増減額 (B-A)  | 9   | 17    | 17    | 15    |                |
| 増減率 (%)    | 0.9 | 425.0 | 425.0 | 750.0 |                |

(注) 当社は、平成 25 年 4 月 19 日開催の取締役会の決議に基づき、平成 25 年 6 月 1 日付で普通株式 1 株につき 200 株の株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

平成 25 年 5 月期個別業績予想値と実績値との差異 (平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)

|            | 売上高  | 経常利益  | 当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------|------|-------|-------|----------------|
|            | 百万円  | 百万円   | 百万円   | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A) | 886  | 2     | 1     | 1.18           |
| 実績値 (B)    | 873  | 16    | 13    | 16.25          |
| 増減額 (B-A)  | △13  | 14    | 12    |                |
| 増減率 (%)    | △1.5 | 700.0 | —     |                |

(注) 当社は、平成 25 年 4 月 19 日開催の取締役会の決議に基づき、平成 25 年 6 月 1 日付で普通株式 1 株につき 200 株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

## 2. 差異の理由

当社グループの主力事業であるソリューション事業 BtoB ソリューショングループにおいて、東京地区の主要な取引企業を中心に IT エンジニアの稼働率が向上したことにより売上高が増加いたしました。なお、慢性的に高度 IT 人材の不足感があるため、一人月当たりの平均単価も上昇傾向で推移しております。ソリューション事業 BtoC ソリューショングループは、IT エンジニアの稼働率の向上及び事業の効率化を進めたことにより、セグメント利益を黒字化することができました。工事関連事業は、既存取引先からの紹介等による受注案件が増加しております。

個別・連結ともに売上高は平成 24 年 5 月期と比較して増加しておりますが、個別の売上高は、業績予想の数値を 13 百万円下回りました。しかしながら、工事関連事業の売上高が業績予想の数値を上回ったことにより、連結での売上高は前回発表予想を 9 百万円上回りました。

また、先述のとおり BtoB ソリューショングループにおいて一人月当たりの平均単価が上昇したことによる売上総利益率の向上、BtoC ソリューショングループの事業効率化に伴うセグメント利益の黒字化により、個別・連結ともに営業利益、経常利益につきましても前回発表予想を上回りました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきまして前回発表予想と実績値に差異が生じる結果となりました。

以上